

月の館

信濃観月文庫

通信

おみ
麻績村

発行／信濃観月苑

長野県東筑摩郡麻績村麻 8059-2

TEL・FAX (0263)67-3933

第30号

無^ぶ

事^じ



自らの夜の夢
五恒

令和三年八月五日
麻績村
信濃観月苑

草木屋の百色

紫 天空の畑

山崎 樹彦

米なし山中領と言われた群馬県奥多野の最奥地に上野村があります。神流川の溪流に沿って散在する集落から両脇にそびえる山々があり、それを活用する急坂の山道に続く山林と畑に人々の暮らしがしのべれます。その山道をかたがた登ったところに三浦さんの畑がありました。十一月初旬に訪れた畑は周りを紅葉した山々に囲まれ、晴れ渡った空は広く澄みきっていました。

この不便で美しい畑を三浦さんはきめ細かく耕しています。小鮒草、茜草、藍、紫が植えられています。一年目の紫はまだ青い葉が残っていますが、二年目のものは、白い種子が実り、根元には翌春に備えた新芽が出ているものの、枝葉はほぼ枯れている状態でした。紫は多年草で四〜五年経た根が薬草としては良いと言われていますが、この畑では一年目はよく育つのですが、真冬を過ぎるとひげ根がなくなり、主根も根腐れを起こしてしまふようです。やや粘土質の土質のせいか、畑の傾斜

具合のせいか、どこかに水が溜まってしまふのでしょうか。あるいは、あまりにも冬の寒さが過酷なのか、雪に覆われる東北地方の寒さとは違い、この土地は凍土になつてしまふのでしょうか。

紫は、朝日が差して霧の舞う山の傾斜地が生育に良いと言われています。高畝にして屋根をかけ、必要な時だけ散水する栽培が各地で行われているようですが、この地ではそうした工夫は施せないようです。それでも丹精を込めて育てられた根は一年目で30〜40cm程も伸び、ひげ根もあり、掘り上げた時も赤いのですが、土を刷毛で落とすとさらに赤味を帯び、青みも加わっていきます。酸化によるものとも、酵素による変化とも言われています。掘り上げて直ぐに水洗すると、色素はほぼ無色の状態で流れてしまふので、掘り上げた後は土を刷毛で払い、空気に触れさせ陰干しにします。色素は発色し水に不溶な物質に変化していくようです。陰干しにして乾燥させたもの



はビニール袋に入れ冷蔵しています。色素は揮発性でビニール袋も紫に染まります。この性質はアルミ媒染をして布に付着させた後にも変わらず、染めた布を紙に挟んでおくと紙も染まってしまうのです。当然、元の布の色は薄くなっていくのですが、これがこの染色の基本でもあるのです。時代劇などで病気の殿様が紫の鉢巻きをしています。布から紫根の色素が揮発し頭痛薬として効果があると言われていました。薄くなればまた染め直せばよいのです。

三浦さんの畑で採集した紫根は翌日染めてみました。20年ほど前の比較実験でその資料は残っていませんが、①紫根を掘ってすぐ水洗いしたもの②掘って土を落とし日陰干しにして、翌日水洗して染めたもの③一か月ほど日陰干しをしてから水洗して染めたもので高温の酢水による採みだしで比較したところ、②が最も濃く鮮やかでした。やはり以前に行った中国産による比較実験で、一番染色

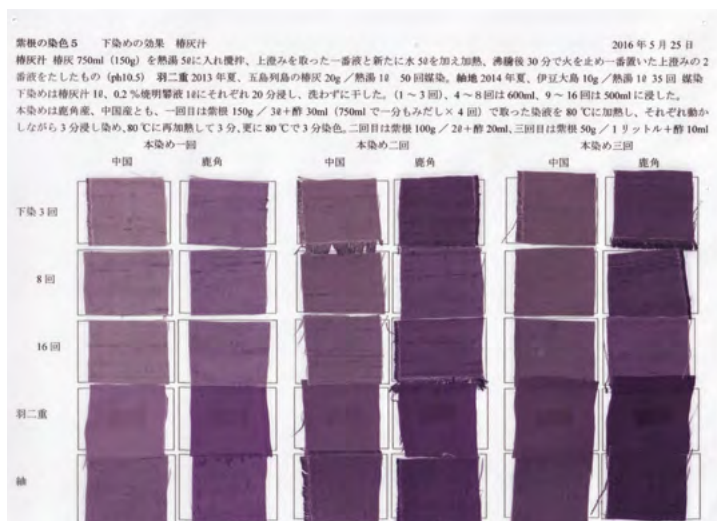
効果のあった次の条件のもと三浦さんの育てた一年目の紫根100g、一年目の紫根100g、プランターで育てたひげ根の多い乾燥5か月のもの40gの3種類の比較を試みました。

1. 採みだし温度は80℃で熱湯1ℓに米酢10mlを加えたもの

2. 染液温度は75℃で、焼き明礬0.2%による中媒染
またアルコール抽出による染色も行いました。

高温の酢水による採みだしは、通常厚いゴム手袋を使います。高温であることと酸性であることが溶出条件で、手でよく採みだす必要があります。熱いので根性染めなどと呼ばれるますが、昔はどうしたものでしょうか。専用の臼と杵でついたり、わらぐつで踏んだりしたのでしょうか。

アルコール抽出では、紫色色素シコニンには水よりも有機溶媒に溶けやすく、消毒用エタノール（エチルアルコール80%前後）などを使います。これに浸しておけばすぐに溶



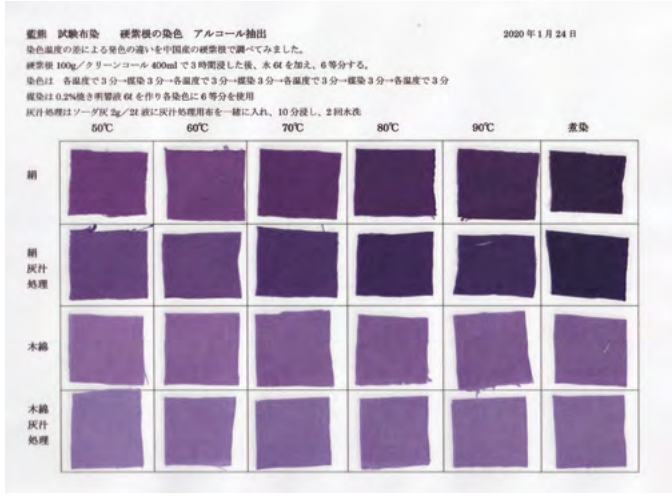
出してきます。アルコールは高濃度なら良いというわけではなく、乾燥キクラゲの染色での溶出は99%アルコールでは全く効果がありませんでした。キクラゲは膨らまず乾燥した状態のままなのです。それに比べ消毒用エタノール(エチルアルコール80%)では赤色素が溶出し、キクラゲは水で戻したように膨らんでいきます。乾燥加減にも依りますが、紫でも同様のことが言えます。では、このような方法を用いた可能性はあるのでしょうか。日本酒、焼酎、ウオッカあたりで試してみようと話しているのですが、研究会のメンバーのうち近場にいる二人が酒に弱く、奈良漬でも酔ってしまう体質のようで、この実験にしり込みしています。コロナ禍が終わったから東京にいる酒豪メンバーの参加を待って試したいと思っています。

試験結果は一年目の根がどちらの染色でも圧倒的に濃く染まりました。ひげ根は以前

行った染色ではよく染まっていきましたので、あまり染まらなかったのは、保存状態によるものと思われれます。

伝統的な紫根染としては秋田県鹿角の栗山さんの手法がよく知られています。私の講習会に参加してくれた秋田の方から鹿角産の紫根と椿灰汁による下染め35回の紬の布(二年枯らし)、下染め50回の羽二重の布(三年枯らし)をいただいたことがあります。(寒い地方には椿はないので、ニシゴリ(サワフタギ)の灰汁を昔は使っていたようです)。アルミは酸性にも溶けますが、アルカリにも溶出するので、その性質を利用して、アルミの多い植物の灰から灰汁を取り、何度も浸すことによつて、アルミの先媒染をしたうえで(下染め)、紫根液に浸し染める手法です(本染め)。

この時の試験布染めでは椿灰汁下地の意味が判りました。この時、私は椿灰汁の3回、6回、12回の下染めをしてみました。回数による差



はほとんど見られず、むしろ回数も多くした布の色が薄くなる傾向がありました。それに比べ、頂いた35回下染めの紬と50回下染めの羽二重はしっかりと本染めの紫色素を吸着していたのです。私の下染めでは枯らしが不十分で本染めの段階で布からアルミが溶け出し、紫色を阻害する原因にもなったようです。

私が群馬県富岡市妙義町に移住して間もなく、三浦さんが訪ねてきてくれたから始まった妙義試験布染研究会は参加者も増え、様々な知識と経験を出し合いながら、試行と思考を重ねる場になってきています。三浦さんは一所懸命の人で、上野村に惚れ込み、染料も上野村でとれたもの、栽培したもので染色をしていると聞いています。来年秋には紅葉の山々に囲まれた天空の畑でまた採集させていただき、椿灰汁下地の枯らしの効果なども含め、改めて紫根の試験をしたいと思っています。

祖父の山崎斌の友人だった

若山牧水が『水上紀行』を残した群馬県みなかみ町に住む息子から、みなかみ町若山牧水短歌大会と一緒に応募しないかと誘われました。60の手習いです。

季節ごと土地ごとに染む草木染 人の知に染め人の輪に染め

一九五八年 群馬県高崎市生まれ
一九八二年 北海道大学理学部卒
父、山崎青樹の経営する草木染研究所に入所
実務を担当していた叔父、篠崎節に草木染及び草木染型染を学ぶ
二〇一一年 群馬県富岡市妙義町に移住
風土に根ざした草木染の確立に向けて研究、創作を行っている
草木屋代表、草木染伝習所主宰

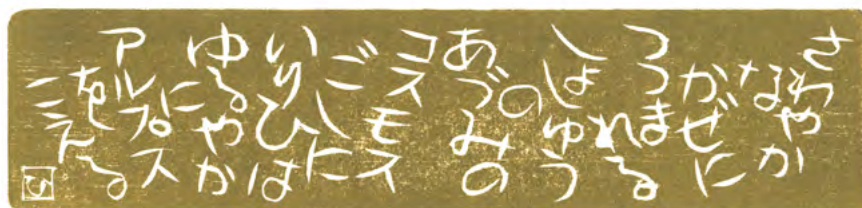


山崎 樹彦
(やまざき たてひこ)

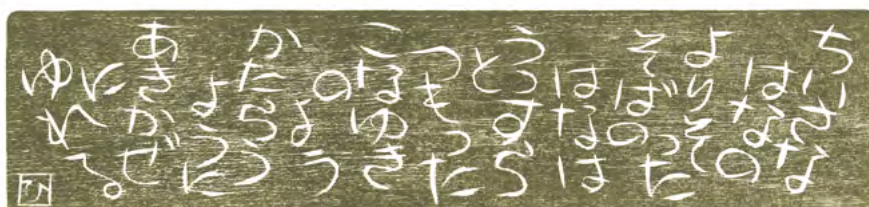
塩入 久木版画展

塩入 久木版画集

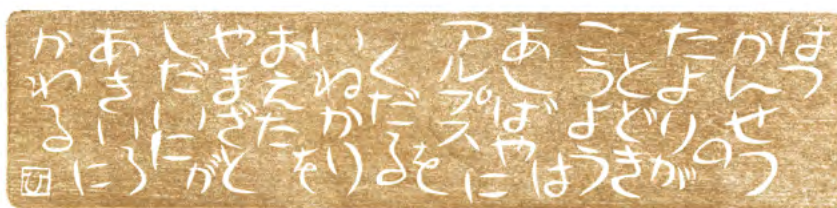
「松本・安曇野 北アルプス山麓の四季」より



秋桜（池田／会染）有明山



蕎麦（安曇野／豊科／重柳）常念岳、有明山



刈田ひこばえの頃（池田／会染）有明山



澗沢紅葉（松本／上高地）

木版画家
塩入 久
(しおいり ひさし)



一九四九年 長野県長野市信州新町
生まれ

第1回イオングットライフコンテ
スト大賞、第17回全国公募IAC
美術展新人賞をかわきりに、第39
回全国公募IAC美術展文部科学
大臣賞、県工芸美術展知事賞など
受賞多数

日本版画院委員、IAC美術会常
任理事、長野県工芸美術会理事長、
信州版画協会会員

二〇二一年 長野県池田町池田郵便
局風景印「てるてる坊主・唄のふ
るさと」デザイン



ギャラリー展

予定は変更になることがあります。

皋月きりえ展

4月29日(木)～5月30日(日)

出展／日達れんげ・チャールズ日達

江間廣・凡倶楽部作陶展

6月6日(日)～6月28日(月)

出展／江間廣・陶芸教室会員

岸田怜作陶展

7月3日(土)～7月12日(月)

出展／岸田怜

ステンドグラス&グラスアート展

7月16日(金)～7月26日(月)

出展／山口利一

更級花織工房展 ～あんずのいのちを絵緋に織る～

8月27日(金)～9月6日(月)

出展／窪田孟恒 窪田紘子 協力：永岡真由美

塩入久木版画展

9月9日(木)～9月20日(月)

出展／塩入久

天山窯 一條隆好作陶展

9月23日(木)～10月11日(月)

出展／一條隆好

草木屋 草木染展

10月13日(水)～10月31日(日)

出展／山崎樹彦・澄子 山崎杜人・山崎美季・山崎梢

ギャラリー展は4時30分まで、展示最終日は午後3時までです。

冬期間や空いている間に、お宝展、俳句作品展、草木染の展示をしていることがあります。貸館も致します。

観月苑文化講座

参加者募集中

予定は変更になることがあります

山口勝人写仏教室(第1土曜日)

14:00～16:00

会費／前期・後期とも

各5,000円

講師／安養寺住職山口勝人

芭蕉講座【第3木曜日】

10:00～11:30

会費／月1,000円

(前期・後期とも各6,000円)

講師／「岳」同人窪田英治

「奥の細道」を読んでいます

初心者、実作者のための

俳句講座(一回)

【夏を予定】

会費／1,000円

講師／「岳」編集長 小林貴子先生

を予定しています

催し物 案内

予定は変更になることがあります。

第29回月の里俳句作品募集

募集締切 **8月31日**☎

変更はありません。

大人 3句一組（何組でも可） 投句料／1組 1,000円

高校生は投句料無料

こども おおむね小学3年生～中学生 2句まで 投句料無料

選者／「信濃俳句通信」主宰・佐藤文子

「黒姫」主宰・神田北童

「岳」編集長・小林貴子

「梟」同人・水上孤城

第21回曼陀羅の里お月見俳句大会

10月16日☎

予定は変更になることがあります。

13:00～16:00

当日句 2句一組（自由題）

会費／1,500円

（投句料・聴講料・昼食等）

選者／「信濃俳句通信」主宰・佐藤文子

「黒姫」主宰・神田北童

「岳」編集長・小林貴子

「梟」同人・水上孤城

茶室清香亭月釜

松林のなかの茶室にて季節のお点前をお楽しみください。

時間 10:00～14:00 日時は変わることがあります。

会費／一席 600円

点心&お抹茶 2,500円（要予約。3名様以上）

5月23日☎ 表千家流 清流会矢口社中（筑北村）

6月6日☎ 石州流 芳香庵松悠（筑北村）

煎茶道 黄檗東本流 長瀬鶴早（中野市）耕月軒

6月13日☎ 裏千家 島津宗純社中（長野市）

7月4日☎ 表千家流 鈴木康之（名古屋市）**濃茶** 耕月軒





みんなで歌いましょう！
合唱指導とテノール独唱

6/13 日

14:00
 ~ 16:00

場所／月の館大寄せの間

講師 ● テノール独唱／島津 和^{しまづ}平^{かずへい}

ピアノ伴奏と独奏／津金 真裕美



おくむら みか
奥村 美佳ピアノコンサート

9/5 日

14:00
 ~ 15:30

場 所／月の館大寄せの間

参加費／おとな 1,500 円

ピアノ／奥村 美佳

とお やま のぞみ いま い ち なみ
遠山 望・今井 千波
デュオリサイタル

10/2 土

14:00
 ~ 15:30

場 所／月の館大寄せの間

参加費／おとな 1,500 円

サクソフォン／遠山 望

ピアノ／今井 千波



第二十八回 月の里俳句入選作品

一般の部

佐藤文子選

特選 能面に宿す精霊月に舞い
夜も昼も人のゐる憂と熱帯魚
百瀬 隆子
山崎 妙子

秀逸 稲の花沈む夕日を吸ひつくす
一山を揺らしてとおる青嵐
比田井喜美子
西田 浩一
此の世への目印とせむ曼殊沙華
酒井 和子

神田北童選

特選 暮れてなほ空に火照りやちちろ虫
ねずこ下駄木曾吹きぬける青嵐
黒沢 孝子
中村 百仙

秀逸 山畑の山に還りぬ葛の花
高原の小児病棟秋あかね
竹内 雪絵
山崎 妙子
自肅とは物言へぬこと墓
荻上 憲治

佐藤文子選

特選 ふんわりと夜つつみこむこおろぎよ
ヒマワリがわたしをみてとさきほこる
共和小学校 五年生 嶋原 優海
筑北小学校 六年生 渡辺 美央

秀逸 ゆっくりと静かにつづく波の音
行く秋や夕日が落ちる水平線
共和小学校 四年生 清水 千暁
共和小学校 五年生 井上 愛海
夕立が海の中にとけていく
共和小学校 六年生 中村 未結

神田北童選

特選 こおろぎや月の光でコンサート
炎天下シユートを決めてハイタッチ
共和小学校 五年生 宮川菜南弥
筑北小学校 六年生 宮澤 櫻

秀逸 ヒマワリがわたしをみてとさきほこる
風鈴を鳴らした風で髪なびく
筑北小学校 六年生 渡辺 美央
共和小学校 五年生 東 史佳
やきもろこしおいしいにおいかぜにのる
共和小学校 一年生 はやしるいり

小林貴子選

特選 盆灯籠回り深海めく一間
水彩の水の水色涼新た
久根美和子
野口 和男

秀逸 炎天を閉ざす扉のなかりけり
烈日の朱一身に凌霄花
仙石 月歩
篠田 暘
夜も昼も人のゐる憂と熱帯魚
山崎 妙子

水上孤城選

特選 テレワーク出来ぬ職種や玉の汗
小鳥来る左手だけのピアノリスト
飯島千花梨
吉池 史江

秀逸 ゆきあいの空戸隠は骨のごと
盆灯籠回り深海めく一間
酒井 和子
久根美和子
秋桜笑顔の少女揺れてゐる
新田 順子

小林貴子選

特選 五月晴れ伊達政宗をかざる僕
バシヤバシヤと小川であそぶ亥の親子
共和小学校 五年生 宮澤 奏良
筑北小学校 六年生 宮坂 栄寿

秀逸 カブトムシなかなか服をはなさない
太陽がおこつてみえるすいません
今井小学校 五年生 川上 翔琉
共和小学校 四年生 及川 晴誉
バス停で待っていたのは春一番
共和小学校 六年生 金 知秀

水上孤城選

特選 母と餅つくる三時の春の風
風鈴を鳴らした風で髪なびく
共和小学校 五年生 土屋 日乃
共和小学校 五年生 東 史佳

秀逸 朝焼けの空にとびたつばめかな
終戦の重み感じる夏の雲
共和小学校 五年生 井上 愛海
共和小学校 六年生 島田 素
つゆ晴れにえがおいっぱいひまわりも
筑北小学校 五年生 本田 悠樹



耕月軒の降りつくばい

耕月軒の楓

小学生の部

信濃観月苑をご利用ください

広く文化活動や研修会、お茶会等にどうぞ
お問い合わせ・ご予約 TEL/FAX 0263-67-3933
メール kangetsu@vill.omi.nagano.jp

小間の茶室「清香亭」

■利用料金/1会 10,000円



ギャラリー

展示発表の場としてご利用ください。

■利用料金/半日 5,000円・1日 10,000円



観月堂

お茶会、句会、月見の宴などにご利用ください。

■利用料金/半日 5,000円・1日 10,000円



大寄せの間

(2F 40畳和室) ステージ付

お茶会、お稽古、句会、研修会、コンサート会場などにご利用ください。

■利用料金/半日 3,000円・1日 6,000円



広間の茶室「耕月軒」

■利用料金/半日 5,000円・1日 10,000円

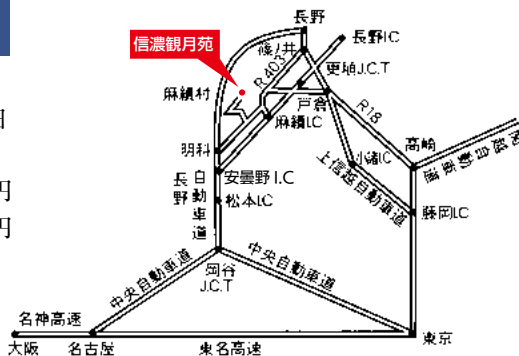
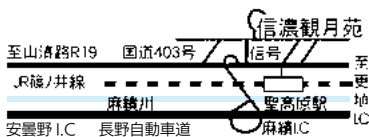
お抹茶 600円 (要予約)
点心 2,000円 (3名様より。要予約)

グランドピアノ KAWAI GM-10 ご使用時
■利用料金/半日 5,000円・1日 10,000円

信濃観月苑

長野県東筑摩郡麻績村麻8059-2 〒399-7701
TEL/FAX (0263) 67-3933

開苑時間 午前9時～午後5時
休苑日 毎週火曜日 (火曜祝祭日は開苑、水曜休苑)
入場料 個人 高校生以上 300円
 小人 150円
 団体 20名以上2割引



麻績村のホームページ <http://www.vill.omi.nagano.jp>

表紙/3.11から10年。災害列島に
コロナ禍。明日を信じて生きる。